

■開催趣旨

防災・減災のために、家庭で・地域で・子ども会で何が出来るか  
何を備えるか、次代を担う子どもたちに伝えるためにみんなで考える

■期日

2014年9月19日(金) 13:30~16:30(3時間)

■会場

西宮市職員会館 3階 大ホール

■参加者

13名 (子ども会育成者13名)

■概要

阪神・淡路大震災当時のまちの様子をスライドショーで鑑賞し、  
被災体験を語り部(講師)に聞いた後、防災・減災に向けて、  
家庭や地域や子ども会でできることを全員参加型の意見交換で考えた

■実施スケジュール

時間	内容
13:30	あいさつ つなぐ手プロジェクト代表団体職員 浅見真一
13:35	オープニングスライド 「阪神淡路大震災って…」
13:45	語り部によるお話し 「1. 17 あのとき私は、あれから地域は、そして…」
14:10	全員参加型即答フリップ方式ディスカッション 「考えてみよう!子ども会でできる災害への備え」
16:30	終了・事務連絡 西宮市子ども会連絡協議会副会長

■語り部

西宮市子ども会協議会  
会長 川本輝子 氏

■ワークショップ運営チーム

ファシリテーター 一般社団法人兵庫県子ども会連合会  
事務局長 浅見真一  
スタッフ・記録 青少年活動リーダー 3名

■会場の様子



語り部のお話し



ディスカッション

■参加者の感想

- ・いい体験ができた
- ・良い会に参加できた、ありがとう
- ・とてもよかった
- ・若い人が期待されている
- ・今日のことをもう一度、家に帰ってふりかえろう
- ・備えは大切
- ・実際子どもたちに伝えるのは難しい
- ・考えてつながっていくことは大切なことだ
- ・なるほどと共感!
- ・何かやらないといけないなあ